

# Anwar Ibrahim



“Anwar Ibrahim は1993年から1998年まで副首相、1991年から1998年まで財務大臣を務めた著名なマレーシアの政治家です。1998年以来、彼はマレーシアの人民正義党を率いて、同国の民主主義と法の支配を強化してきました。

彼は過去20年間のうち8年間、政治囚として拘禁されていましたが、2018年5月のマレーシア総選挙で、与党の61年間の権力保持を破る歴史的な勝利の後、政治的な動機、暴露容疑からの完全な恩赦を与えられました。新政府は、Anwar は首相として待機中であり、今後2年以内に首相継承が期待されています。”

Anwar は、汚職に対する彼の理念的な姿勢と、アジアの金融危機期のマレーシア経済の巧妙な管理手法をたたえて、今も賞賛を受け続けています。彼は21世紀の競争力を維持するため、マレーシアの政治経済システムの大胆な改革を呼びかけました。独立司法、メディアの自由化、そして法の支配の尊重が、マレーシアの経済力を拡大する基礎となると考えています。また、公共政策が貧困者の窮状を見逃してはならないと同時に、社会のインフラ整備、外国からの投資の誘致、そして経済の成長を追求するべきではないと考えている。彼が率いる多民族正義党は、どのようにしてマレーシアの多様な民族や宗教グループが共通の国家目標に向かって協力できるかについての難側を提出しました。

彼の経歴を通して□Anwarは東と西の間のより深い理解を支持する説得力のある議論を明確にしました。多くの人が文明衝突の必然性を述べているとき□Anwar の見解は文明の対話が必要かつ不可欠であるということです。イスラム教徒の世界では、彼はイスラム教徒が過半数を占める国が直面している複雑な問題を伝える能力において非常にユニークです。

“彼の経歴を通して□Anwar はユネスコ世界会議の議長、世界銀行の開発委員会委員長および国際通貨基金、アカウントビリティの名誉会長に国際危機グループの諮問委員会のメンバーを含む、国際機関で重要な位置を占めてきました。

そして、ジョージタウンのイスラム教徒 – クリスマン理解のためのAlwaleed Centerでは偉大な客員教授兼マレーシア議長でした。彼はまた、ジョンズホプキンスにて高等国際スタディを教え、オックスフォードのセントアントニー大学にて、東南アジアの統治、民主主義および現代政治の問題について講義をしてきました。”